

# 名古屋学院大学

## 2026 年度一般選抜 出題の意図

試験区分	一般入試（後期）
試験日	3月13日
科目	国語

### 設問Ⅰ

設問Ⅰは、現代文の論理的文章についての問題です。今回は西尾幹二の文章を題材としました。人間の意思の自由性について論じたものです。人間は自分の意志で行動を決めているように思っているが、はたして本当にそうなのかどうかを論じています。例えば、真に意思の自由をもてるのは神のみとする考え方があり、しかしこれにより過ぎてしまうと、犯罪者を裁く根拠を失う問題が起こる。こうした考え方の関係を読解させることを狙いとしています。その他、文中の空欄に入るべき語句を問うことを通じて、文脈を読解させることを求めたほか、漢字や語彙などの基本的な知識を問う問題も設けました。

### 設問Ⅱ

設問Ⅱは、松村圭一郎『はみだしの人類学 ともに生きる方法』を題材とした出題です。AI やテクノロジーの進歩著しい中で、「人間らしさ」を考える文化人類学の考え方を紹介する文章です。考え方の例として、「人間は社会的動物である」、「つながり」という視点から、昨今よく耳にする社会の「分断」が、実は「つながり」があるからこそ見えてくるということを論じています。文化人類学の考え方の例をもとに、世間では当然視されている考え方が実は当然ではない（異なる、あらたなとらえ方ができる）ことを読み取れるかを見ています。考え方の多様性の理解は大学での学びに必要なことでもあります。問題は、「つながり」を介した関係の読解に加え、接続詞、単文挿入位置の問題といった構成の把握を求める問題を設けました。